

学校長

氏名 都竹 克彦

学校長あいさつ

◆「グローバル人材の育成」を目指す学校です

高山市立荘川さくら学園は、荘川小学校・荘川中学校が統合し、令和7年4月に開校した、高山市初の義務教育学校です。荘川地域とのつながり、人のつながりを大切にしながら、荘川から世界へつながるグローバル人材を育てます。

・文部科学省認定「教育課程特例校」

通常、小学1・2年生は外国語教育を行いませんが、本学園では小学1・2年生から外国語教育を行っています。

・市教育委員会認定「小規模特認校」

R8年度からは、市内に居住する児童生徒は、通学区域に関係なく通学できます。

◆校名の由来

荘川町のシンボルである荘川桜のように、困難な環境でも自分の力を精一杯発揮し、自分らしく、桜のように美しい花を咲かせてほしい」という願いが込められています。

◆新しい校歌

新しく創られた校歌は、「自然・人々・未来」をテーマに、作られました。（作詞・作曲：平田誠 先生、作詞：一川宗弘 先生）

◆教育目標「自律 協創 共生」

児童生徒、保護者、地域の方と「育てたい力」について話し合い、「自律 協創 共生」としました。「私がPlayer」を合言葉に児童生徒の主体性を育むための活動を行っています。

◆特色ある教育活動

○保小中一貫の外国語教育

保育園、小学校（前期課程）、中学校（後期課程）をスムーズにつなげた外国語カリキュラムにより、世界とつながる外国語能力を育成します。1～2年生では週3回各15分の「えいごあそび」の授業があり、楽しみながら外国語を学んでいます。併設の保育園でも「えいごであそぼう」という活動を行っています。7年生からは通常の授業に加え、海外の方とオンラインで交流を行います。

○教科担任制・縦割り授業

前期課程（1～6年生）で教科担任制を導入し、より専門性の高い教科指導を行っています。学習内容に合わせて、学年を超えた縦割り授業も行います。

○育Me科

社会の変化に対応できる力をつけるために、他人とのコミュニケーションや自己のコン

トロールなど自分と相手の感情を理解し、良好な人間関係を築く能力や技術を身に付ける学習を行います。育 Me 科では、独自のカリキュラムでスキルを学び、多様な方と交流する場面を位置付けて実践力を育てます。

○郷土教育の推進

荘川の自然、文化、産業について学び、地域の魅力や価値を知ること、ふるさとへの愛着を育みます。また、外国語教育や育 Me 科での学びや、ICT 機器を使った情報発信により、グローバル人材の育成につなげます。

○食育の推進

隣接した給食センターでは、地域の方が育てた食材を活用しながら、子どもたちや地域の方にも食育を推進します。

これまでの荘川小学校・荘川中学校の長い歴史の中で築き上げてきた伝統を継承し、子どもたちや保護者、地域の方、教職員と一緒に集い、学ぶ新しい文化を、教職員・地域が一丸となって築いていきます。